

学校教育目標	主体的に生きる人間の育成
目指す学校像	(1) 学校・家庭・地域が連携し、きれいで誰もが安心・安全に過ごせる学校 (2) 誰一人取り残すことなく、個に応じた教育を実践する学校 (3) 生徒が変化の激しい社会を生き抜くために必要な力を身につけ、社会の一員として行動できる人材を育成する学校 (4) 教職員が力を結集し、「チーム土呂」として前進する学校
重点目標	1 「主体的・対話的で深い学び」による学力向上 2 誰もが安全で安心して生活できる学校作り 3 コミュニティ・スクールの機能をいかし、地域とともに歩む学校作りの推進 4 授業公開、研修とICT活用を通じた教師力アップ

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価			実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	【学びの質の向上に関する取組】 (現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語・数学ともに全国・市平均と比較して概ね良好である。 ○日々の授業態度については良好で学習にしっかりと取り組んでいる生徒が多い。 (課題) ○全国学力・学習状況調査の結果において、国語では「自分の考えの基になった発言や話し合いの内容を整理して述べること」、数学では「場面に適した代表値の活用」に若干の課題がある。 ○SDGsに関連した「食育」についての学習を通して、地域や社会をよくするための活動の実施。	・「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けた授業改善と学習端末の有効活用	①話し合い活動を充実させ、何についてどのような目的で話し合っているのか意識させる。 ②校内公開授業を実施し、ICTを効果的に活用するための授業実践を行ない、検討していく。	①学習状況調査の結果で、自分の考えをまとめ、基になった発言や話し合い活動の内容を整理して述べることができたか。 ②学校評価(教職員)において、「ICTの効果的な活用が行われたか」のA回答が前年度より向上したか。				
		・学びの探究化を目指した「STEMS教育」「SDGs」の段階的な取組の推進	①総合的な学習の時間において、「STEMS教育」や「SDGs」の取組を通して、「食育」について学び地域に発信していく。 ②校内研修において、「食育」について研修を深め、指導を充実させる。	①各学年の取組計画ができ、教科横断的な学びのレベルアップが図られているか。 ②学校評価(生徒)において、「学んだことを将来に役立てたいと思う」の肯定的回答が前年度より向上したか。				
2	【子どもの発達や心のサポートに関する取組】 (現状) ○教育相談部会を中心として、不登校傾向の生徒の相談・指導を組織的継続的に行うことができている。 ○学校評価アンケート(生徒)「相手の立場に立って考え、いじめのない明るい学校になるように気を付けている」の肯定的回答が95%を超えている。 (課題) ○自己肯定感の低い生徒への支援とその体制づくりの強化 ○SNS等でのトラブルが発生している。	・生徒一人ひとりへ細やかな寄り添いができる教職員の育成	①いじめの未然防止、早期発見、積極的な初期対応を適切に行う。 ②教育相談の共通理解のもと、不登校生徒と学校との関りを作り、個別最適な支援を実施する。新規不登校生徒を出さないための方策を研修する。	①日常生活の中で積極的に「あいさつ」を実施して意図的に会話を行い、生徒の状態や理解を深めることができたか。 ②おはようメーターの活用や個別面談を随時実施して、生徒の支援を行うことができたか。				
		・安心。安全な学校生活ができる教育活動の充実	①Sola ルームの効果的な運用を図る。 ②土呂中学校いじめ防止基本方針に基づいた指導を徹底する。 ③スクールロイヤーを招いての講演会を実施し、規範意識の育成を図る。	①学校評価(保護者)において、「いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的回答が前年度より向上したか。				
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 (現状) ○地域の行事に少しずつボランティアでの参加がみられるようになってきた。 ○授業参観や学校行事の公開が進められている。 (課題) ○教職員、生徒の地域催事への参加や地域貢献の方法について負担を少なくして実施していく。	・地域との連携を図り生徒の地域行事への参加を通じた地域貢献の推進	①地域のボランティア活動等を積極的に紹介し、生徒が自らの考えで地域の一員として活躍できるよう育成をする。 ②ボランティアに参加した生徒による報告会を集会や放送等で発表する。	①生徒の活動後にアンケートを実施し、地域の活動に協力することについての項目で肯定的な回答が優位となる。 ②地域の関係者にアンケートを実施し、地域への活動参加についての項目で肯定的な回答が優位となる。				
		・授業参観や学級懇談会、学校行事や部活動等の公開を通じた学校公開の推進	①学校公開の機会を増やし、生徒の日々の様子を公開する。 ②学校運営協議会で多くの意見をいただき、学校運営に生かす。	①学校評価(教師)において「学校の行事予定や生徒の様子について、懇談会や二者面談、学年だよりなどにより、分かりやすく伝えている」のA評価が前年度より向上したか。				
4	【教育環境の整備に関する取組】 (現状) ○学校施設の安全・安心な環境の確保のために、職員、管理職、業務主査による点検を実施し、危険箇所の把握と対応はできている。 (課題) ○登下校の交通安全指導の継続	・安全な学校生活ができる学校設備の維持・管理	①安全点検等において、破損箇所や修繕箇所を確認し、対応処置をとる。	①安全点検後、管理職や事務職員が該当箇所を確認し、対応できたか。				
		・安全な学校生活に主体的に取り組む生徒の育成に向けた教育活動の充実	①防災教育を「STEMS教育」や「SDGs」の取組の中に取り入れ、各学年において段階的、計画的に取り組む。 ②登下校の交通安全指導の継続と地域の方による見回りボランティアの実施を行う。	①学校評価(生徒)において「交通ルールやマナーをよく守り、安全に気を付けて登下校している」の肯定的な回答が前年度より向上したか。				
5	【教職員のキャリア形成に関する取組】 (現状) ○ストレスチェックの結果等から教職員の適性やキャリア段階に応じた校務分掌となり、職場環境は整えられている。 ○校内研修やICT研修を計画的に実施し、成果を上げている。 (課題) ○時間外在校等時間が平均的に長時間となっており、学校全体での業務の見直しが必要となっている。	・OJTを活用し、学び続ける組織づくり	①人事評価面談等の機会を利用して、個々の教職員に必要な研修を奨励する。	①研修履歴を活用し、教職員個々が計画した研修が予定通りに進めることができたか。				
		・計画的な行事の見直しと精選	①働き方マスタープランに基づき、計画的に見直し、スリム化を図る。ICTを活用し、引継ぎを意識しながら業務に取り組む。	①学校全体の時間外在校等時間を減らすことができたか。				

